

和泉川観測観察 水位・水質・生物

2023年2月

東山の水辺

日	曜	時刻	水位	流速	流量	雨量	気温	水温	PH	電導率					その他(生物、透視度等)	
			cm	目視	m ³ /分	mm	°C	°C		μS	ア	オ	カ	ザ	ヌ	その他
1	水	17:15	0.0	瀬切れ			10.7							1	25	モクスガニ1 シロタニカワカゲロウ1 アオサギ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
2	木	17:30	0.0	瀬切れ			7.1							6	39	シロタニカワカゲロウ1 アオサギ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
3	金	18:15	0.0	瀬切れ			5.3					3	10		36	カワニナ1 アオサギ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
4	土	17:50	0.0	瀬切れ			7.6						7	2	164	タモロコ1 シロタニカワカゲロウ1 アオサギ1 ヤマガラ1 メジロ1 シジュウカラ1
5	日	17:25	0.0	瀬切れ			9.3									ダイサギ1 アマサギ1 ヤマガラ1 メジロ1 シジュウカラ1
6	月	17:30	0.0	瀬切れ			9.1									ヤマガラ1 メジロ1 シジュウカラ1
7	火	17:05	0.0	瀬切れ			12.5									ヒヨドリ2 ダイサギ1 シジュウカラ1
8	水	17:20	0.0	瀬切れ			9.2									ダイサギ1 アオサギ1 シジュウカラ1
9	木	17:10	0.0	瀬切れ	0		6.8									ダイサギ1 アオサギ1 カルガモ2 ヤマガラ2
10	金	18:20	68.2	濁流	34		1.8	2.5	7.1	38						一 積雪3cm キジバト2 ダイサギ1
11	土	17:30	13.9	薄泥濁	17		8.6	8.6	7.2	108				7	8	ダイサギ1 アオサギ1 シジュウカラ1
12	日	17:35	11.8				14.9	11.9	6.9	178				2	13	カワニナ1 シロタニカワカゲロウ1
13	月	17:40	33.6	薄泥流	15		7.1	8.4	7.1	72						一 ムクドリ群(30羽)
14	火	18:05	13.0	白濁	1		2.7	5.2	7.1	86				4	10	カルガモ2
15	水	17:30	11.7	薄白濁			4.3	5.1	7.0	170					5	キセキレイ1 メジロ2
16	木	17:05	10.8				5.6	6.6	7.2	200					3	(薄氷) メジロ2 ヤマガラ2 シジュウカラ1
17	金	16:30	10.2	白濁			9.4	8.6	7.1	210					6	ダイサギ1 メジロ1 ヤマガラ1
18	土	17:25	9.8				11.6	9.6	7.1	210					6	メジロ1 ヤマガラ1
19	日	17:30	9.1			0	15.7	12.8	6.9	210				1	6	ダイサギ1 シジュウカラ1 ヤマガラ1
20	月	17:20	8.0				11.2	11.6	6.9	220				2	16	アズマヒキガエル2交尾 アオサギ1 カワウ1 ヤマガラ2 シジュウカラ4
21	火	17:30	0.0	瀬切れ			5.5							1	18	アズマヒキガエル2交尾 ダイサギ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
22	水	17:35	0.0	瀬切れ			7.1						1	1	13	アズマヒキガエル1卵 ダイサギ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
23	木	17:40	0.0	瀬切れ	0		11.5								32	ヒヨドリ1 メジロ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
24	金	18:10	0.0	瀬切れ	1		8.7							2	10	カワニナ2 メジロ2 シジュウカラ1
25	土	17:30	5.3			2	7.2	7.8	6.7	230				1	15	カワニナ1 キジバト1 メジロ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
26	日	17:40	0.0	瀬切れ			7.9							1	3	アズマヒキガエル7 アオサギ1 メジロ1 シジュウカラ2
27	月	17:40	0.0	瀬切れ			10.9							1	5	アズマヒキガエル2産卵 ダイサギ1 アオサギ1 キセキレイ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
28	火	17:30	0.0	瀬切れ			15.0									アオサギ1 コサギ1 シジュウカラ1
計			7.3	良0		70	8.7	8.2	7.0	161	3	0	25	25	433	タモロコ1 モクスガニ1 カワニナ5

特記事項

シロタニカワカゲロウ3

降雨が極端に少なく瀬切れ16日、干上がり6日と過去にない長期間の流れの無い状態になった。昨年10月末以来の「良流なし」が続いている。低水位ながら流れのあった日は白濁が3日あり、川の流れは危機的である。気温は2.7度~15.0度の間を激しく上下した。異常気象としか言いようがない。この間、川の中にできた水たまりの中にアズマヒキガエルが多くの卵を生んだ。野生生物の必死の抵抗のように見えてしまう。一部を掬いあげて保護した。流域の生態系の後退は免れないだろう。